

教科名

技術・家庭

| | 学力調査・体力調査・定期考査等の分析 | 指導方法の課題 | 授業革新に向けての具体的な手立て |
|-------------|---|---|--|
| 7 学 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組みは良く発言なども多いが、定期テストの結果等を見ると試験前の学習や復習に取り組んでいる生徒とそうでない生徒には知識の定着の差が大きい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学んだ知識が実習や実生活では活かされていないことが多いので、知識と実践を結びつける工夫が必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・実習の前に学んだ知識を思い出せるような質問をしたり前時の授業を振り返ったりして、学習内容の再確認を行う。 |
| 8 学 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業には積極的に取り組んでいるが、知識の定着が弱く、定期考査の結果に結び付いていない。 ・事前に学んだ知識を実習や実技で活かすことができない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学んだ知識や技能を定着させる工夫が必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業の最初に知識を思い出せるような質問をしたり、ICT機器を活用したりして、学習内容を視覚的に確認させる。 |
| 9 学 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・実習や実技には積極的に取り組んでいるが、丁寧さに欠ける面がある。 ・知識の定着が弱く、定期考査の結果に結び付いていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心をもたせる授業展開の工夫が必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を積極的に活用し、興味・関心を引き出す。 |